

令和3年度
事業報告書

自 令和 3年4月 1日
至 令和 4年3月31日

香川県綾歌郡宇多津町浜五番丁62-1
学校法人大麻学園

令和3年度 事業報告書

1. 法人の概要

(1) 学園の目的

学校法人大麻学園（以下「学園」という。）は、教育基本法及び学校教育法に従い、学校教育を行い、有為な人材を育成することを目的とする。

建学の精神 健康のありがたさを知り、手をもって、伝え広める

教育理念 自立 医療に携わる人として、自ら学び、考え、行動する

信頼 医療に携わる人として、仲間から、患者さんから、社会から信頼を得る

貢献 医療に携わる人として、人々の健康で幸せな生活に貢献する

(2) 設置する学校

学園は、前記（1）の目的を達成するため、次に掲げる学校を設置する。

四国医療専門学校（課程：医療専門課程）

(3) 付随事業

学園は、教育研究事業に付随する事業として、次に掲げる付随事業を行う。

医療、福祉、介護※（ただし、介護は令和4年4月8日 香川県知事認可）

(4) 本学園の沿革

昭和 31（1956）年 香川県高松市に「香川県指圧学校」創設

昭和 33（1958）年 厚生大臣より、あん摩マッサージ指圧師養成施設として認定

昭和 35（1960）年 厚生大臣より、はり師・きゅう師養成施設として認定

〃 香川県知事より、各種学校として認可

〃 校名を「香川県指圧鍼灸専門学校」と改称

昭和 51（1976）年 香川県知事より、専修学校として認可

昭和 54（1979）年 校名を「四国鍼灸専門学校」と改称

平成 4（1992）年 香川県綾歌郡宇多津町（現在地）に移転

平成 6（1994）年 香川県知事より、準学校法人の認可

平成 9（1997）年 「四国リハビリテーション学院」（理学療法学科、作業療法学科）開設

平成 12（2000）年 四国鍼灸専門学校を「四国医療専門学校」と改称

鍼灸学科1部、鍼灸学科2部、柔道整復学科1部及び柔道整復学科2部を開設

平成 18（2006）年 四国医療専門学校と四国リハビリテーション学院を統合し、「四国医療専門学校」となる

平成 19（2007）年 看護学科を開設

平成 21（2009）年 スポーツ医療学科を開設

令和 2（2020）年 桃陵クリニックを事業継承し、大麻学園附属桃陵クリニックを開設

(5) 課程・学科の構成及び学生数の状況（令和4年5月1日現在）

(人)

課程名	学科名	開設年月日	修業年限	入学定員	入学者数	収容定員	現員
医療専門課程	鍼灸マッサージ学科	S33. 3. 28	3	30	30	90	90
	鍼灸学科1部	H12. 4. 1	3	30	6	90	24
	鍼灸学科2部	H12. 4. 1	3	30	10	90	35
	柔道整復学科1部	H12. 4. 1	3	30	24	90	61
	柔道整復学科2部	H12. 4. 1	3	30	7	90	19
	理学療法学科	H 9. 4. 1	4	36	36	144	120
	作業療法学科	H 9. 4. 1	4	30	27	120	99
	看護学科	H19. 4. 1	4	75	47	300	187
	スポーツ医療学科	H21. 4. 1	2	30	0	60	6
	合 計				321	187	1,074

(6) 卒業者動向 (令和3年度卒業者/令和4年5月1日現在) (人)

学科名	卒業者数	関係分野に就職した者	その他の分野に就職した者	摘要
鍼灸マッサージ学科	27	21	0	開業3.進学1.未定2
鍼灸学科1部	9	4	0	開業1.未定・不明4
鍼灸学科2部	8	3	4	未定1
柔道整復学科1部	15	9	1	進学2.未定・不明3
柔道整復学科2部	5	1	1	未定3
理学療法学科	28	28	0	
作業療法学科	20	15	0	未定5
看護学科	35	32	0	進学3
スポーツ医療学科	11	0	5	他学科在籍2.併修1 未定・不明1.進学2
合計	158	113	11	

※1 併修者は昼間部で計上 ※2 進学について看護以外は学内進学

(7) 国家試験等合否状況 (令和3年度卒業者)

資格名 (学科名)	受験者数	合格者数	合格率	全国平均 (新卒)	
あま指師 (鍼マ)	27人	27人	100%	94.7%	
はり師	(鍼マ)	27人	26人	96.3%	90.3%
	(鍼1部)	8人	7人	87.5%	
	(鍼2部)	8人	8人	100%	
	計	43人	41人	95.3%	
きゅう師	(鍼マ)	27人	26人	96.3%	91.4%
	(鍼1部)	8人	7人	87.5%	
	(鍼2部)	8人	8人	100%	
	計	43人	41人	95.3%	
柔整師	(柔1部)	15人	14人	93.3%	81.0%
	(柔2部)	5人	2人	40%	
	計	20人	16人	80.0%	
理学療法士 (理学)	28人	25人	89.3%	88.1%	
作業療法士 (作業)	20人	15人	75.0%	88.7%	
看護師 (看護)	35人	34人	97.1%	96.5%	
アスレティックトレーナー	理論試験(1次)	11人	7人	63.6%	—
	実技試験(2次)	7人	3人	42.9%	
	結果	11人	3人	27.3%	

※アスレティックトレーナー (日本スポーツ協会公認) になるためには、理論試験合格後、実技試験に合格しなければならない。

(8) 役員の概要 (定数:理事6人、監事2人/令和4年5月30日現在)

区分	氏名	常勤・非常勤の別	摘要
理事長 (1号理事=学園長)	大麻 悦治	常勤	H 6. 12. 15 理事就任 H 6. 12. 15 理事長就任
副理事長 (4号理事=学識経験者又は学園功労者)	大麻 正晴	常勤	H19. 4. 1 理事就任 H19. 4. 1 副理事長就任
理事 (2号理事=学校長)	後藤 修司	常勤	R 2. 9. 18 理事就任 R 4. 4. 1 学校長就任
理事 (3号理事=評議員)	笠井 勝代	常勤	R 元. 5 28 理事就任
理事 (3号理事=評議員)	乗松 尋道	非常勤	H17. 4. 1 理事/学校長就任 H26. 3. 31 理事/学校長退任 R 2. 7. 22 顧問就任 R 3. 3. 31 顧問退任 R 4. 4. 1 理事就任
理事(4号理事=学識経験者又は学園功労者)	山下 淳二	非常勤	H27. 3. 18 監事就任 H30. 3. 8 監事退任 H30. 3. 18 理事就任
監事	平田 眞一	非常勤	H21. 4. 1 監事就任
監事	高嶋 博	非常勤	H30. 3. 18 監事就任

※再任者については、最初に就任した年月日を記している。

(9) 評議員の概要 (定数:13人/令和4年5月30日現在)

区分	氏名	区分	氏名
1号評議員(職員)	青木みゆき	2号評議員(卒業者)	成瀬 晴菜
1号評議員(職員)	大麻 陽子	2号評議員(卒業者)	林 広野
1号評議員(職員)	笠井 勝代	2号評議員(卒業者)	松本 和子
1号評議員(職員)	坂本 竜輝	3号評議員(学識経験者)	田幸 正旬
1号評議員(職員)	高橋 謙一	3号評議員(学識経験者)	乗松 尋道
2号評議員(卒業者)	小泉 博幸	3号評議員(学識経験者)	真部 卓一
2号評議員(卒業者)	白井 直樹		

(10) 職員の概要 (令和4年5月1日現在)

	本務者	兼務者	合計
①教 員	53人(男26/女27)	136人(男88/女48)	189人(男114/女75)
②職 員	48人(男20/女28)	—	48人(男20/女28)
合 計	101人(男46/女55)	136人(男88/女48)	237人(男134/女103)

本務者の平均年齢 ①48.6歳 ②50歳

2. 令和3年度事業の概要

(1) 主な事業

①ブランディング、マーケティング戦略（広報戦略）

- ◎With コロナ、アフターコロナを見据えた WEB と高校訪問などリアルをミックスした広報戦略として昨年に引き続き、WEB オープンキャンパスとオンライン入試を実施した。
- ◎ブランディング企画促進プロジェクトを全学体制で取り組み、
タグライン【やさしく、つよい、プロフェッショナル。】とボディコピーを決定した。
- ◎専門資格取得を可能とする質の高い教育を訴求する機能価値に加え、同窓会などを活用した四国医療専門学校のファンづくりを意識した情緒価値の向上として【入学希望者紹介制度】を実施した。
 - ・「入学希望者紹介制度（同窓会、施術所、非常勤講師）」
鍼マ:1名、鍼2:2名、柔1:3名、理学:3名、作業:2名、看護:1名 計12名
 - ・R3年度から新たに設けた「入学希望者紹介制度（在校生）」
鍼マ:4名、理学:1名、看護:2名 計7名
- ◎「AO 特待生制度」適用者に奨学金を支給した。

奨学内容	適用	摘要
(1)特待 A (年間 50 万円支給)	1	柔道整復学科 2 部
(2)特待 B (年間 25 万円支給)	2	鍼灸マッサージ学科
(3)特待 C (年間 5 万円支給)	2	鍼灸学科 2 部、理学療法学科

②学生在籍者数目標 5%増

- ◎組織のスリム化と学務システム導入など IT 化による業務効率化で発生した余剰時間で教員・事務職員の学生の直接関与を増加させることで在籍者数の増加を目標に掲げたが、実際は学務システムの導入により、作業効率と人為的ミスは軽減されたものの、一部作業については複雑化するなど今後の課題が残る結果となり、学生への関与が増えたとは言い難いものとなった。入学者の年度目標および退学者の年度目標いずれも未達であった。

③人件費率に目標値を導入

- ◎現状暫定的に実施している学科長級以上の外部採用を可能な限り避け、内部登用や卒業生の採用により、上昇を続ける人件費率に歯止めをかけるために、看護学科の非正規職員（1名）が専任教員養成講習会を受講し、正規職員に登用した。また、柔道整復学科学科長の退職に伴い内部昇格で後任人事を行った。

④医療・介護事業における事業拡大

- ◎令和2年度新規獲得した医療機関（大麻学園附属桃陵クリニック）において、未実施であったリハビリテーションを行うため、理学療法士（本校卒業生）1名を採用し、専門職によるリハビリテーションを開始した。
- ◎新院長の就任と整形外科医の診療が開始し、診療科目が変更（増加）した。
内科・漢方内科・消化器内科・外科・整形外科・リハビリテーション科・脳神経外科・神経内科
- ◎訪問看護ステーションの設置計画が理事会で承認され、本格始動に向けて準備を進めた。
- ◎年間5回、クリニックにて健康教室を実施し、認知度の向上と地域医療に貢献した。

⑤人的資源の活用と質向上

- ◎FD・SDによる教職員の教育分野と組織運営に関する資質の向上を目的に年2回の全学研修と年1回の教員研修を行った。
- ◎人事評価制度による組織目標の統一を目指し、制度の運用方法を一部改定した。しかし、浸透するには時間を要することもあり、更なるブラッシュアップが必要であった。

⑥その他

- ◎香川県西讃地区に新たな土地を一般競争入札にて取得した。今後は検討委員会が主体となり土地の活用方法について検討を進める。
- ◎（株）喜悦・アグリマス（株）が展開する人材マッチング事業「459 ラシクキャリア」による在校生・卒業生向けキャリア支援を開始した。

- ◎学園校地校舎の有効活用として、看護師、柔道整復師、理学療法士国家試験の四国会場、コロナワクチン接種会場などの外部団体使用を積極的に進めた。
- ◎2号館空調機更新工事（先進的省エネルギー投資促進支援事業費補助金適用）を行った。
- ◎3号館LED照明器具への更改工事を行った。
- ◎1号館、2号館にサーマルカメラを設置した。
- ◎学生寮土器横の土地を取得し、学生の無料駐車場スペースを拡張した。
- ◎香川看護専門学校、香川県立農業大学校と共同し、本校を会場とする職域接種を実施した。
（総接種者数 2,270名）

(2) 施設等の状況 (令和4年5月1日現在)

①校地

	総面積	専用	共用	備考
校地	25,260 m ²	25,260 m ²	0 m ²	
	(うち借用 0 m ²)	(うち借用 0 m ²)	(うち借用 0 m ²)	

内訳:

	総面積	専用	共用	備考
校舎敷地面積	10,554 m ²	10,554 m ²	0 m ²	各校舎、本館
運動場	0 m ²	0 m ²	0 m ²	
その他	14,706 m ²	14,706 m ²	0 m ²	別館、学生寮、 学生ホール、 無料駐車場、 桃陵クリニック

②校舎等

	総床面積	専用	共用	備考
校舎等	14,370 m ²	14,370 m ²	0 m ²	各校舎、本館

内訳:

	室数	床面積	専用	共用	備考
普通教室	30	2,348 m ²	2,348 m ²	0 m ²	
演習室	5	194 m ²	194 m ²	0 m ²	視聴覚教室、 セミナー室
実習室	25	2,569 m ²	2,569 m ²	0 m ²	
講堂	2	668 m ²	668 m ²	0 m ²	1号館、3号館
保健室	1	42 m ²	42 m ²	0 m ²	5号館
図書室	1	701 m ²	701 m ²	0 m ²	本館
休憩室	5	246 m ²	246 m ²	0 m ²	
臨床実習施設	1	400 m ²	400 m ²	0 m ²	附属施設所 (鍼灸治療院・接骨院)
その他		7,202 m ²	7,202 m ²	0 m ²	
合計		14,370 m ²	14,370 m ²	0 m ²	

③その他の施設 (学生寮・校外施設等)

	床面積	専用	共用	備考
別館	3,029 m ²	3,029 m ²	0 m ²	
学生ホール	409 m ²	409 m ²	0 m ²	テナント部分を 含む
学生寮土器	1,564 m ²	1,564 m ²	0 m ²	
学生寮二番館	2,651 m ²	2,651 m ²	0 m ²	建物1棟賃借
学生寮三番館	2,302 m ²	2,302 m ²	0 m ²	
桃陵クリニック	719 m ²	719 m ²	0 m ²	多度津町

3. 財務の概要

(1) 学園の財政状況

1. 法人の財政状態が健全であるか、学校運営に必要な財産を保有しているかどうかは『貸借対照表』で確認することができます[資料①参照]。
資産総額には有形固定資産の他、将来の特定の支出に備える目的で留保している特定資産や現預金が含まれており、令和3年度末の資産総額は8,502,398,903円で、前年度比76,700,591円の増加となりました。
負債総額はクリニック事業承継時の借入金や退職給与引当金が主で、令和3年度の負債総額は850,043,805円で、前年度比7,540,585円の減少となりました。総負債額の総資産に占める割合を示す総負債比率は10.0%となりました[資料④参照]。この比率は一般的に50%未満の低い比率ほど望ましいと言われていています（令和元年度の専修学校法人全国平均値は18.0%）。
基本金に翌年度繰越収支差額（事業活動収支計算書の翌年度繰越収支差額の金額と一致）を加えた純資産は、前年より84,241,176円多い7,652,355,098円となりました。
また、法人の短期的な支払能力を判断する指標に流動比率があり、689.4%となりました[資料⑤参照]。一般的にこの比率が200%以上であれば優良とみなされています（令和元年度の専修学校法人全国平均値は221.5%）。
2. 法人の当年度の事業活動収支については、『事業活動収支計算書』で確認することができます[資料②参照]。
『事業活動収支』とは、当年度の事業活動における収入と支出の均衡状態を明らかにするもので、企業会計の損益計算に該当するものです。そして、その収支差額（基本金組入前）の収入に対する割合を示す『事業活動収支差額比率』は単年度の経営状態を見る最も基本的な財務比率で、プラスが大きくなるほど経営に余裕があるとみなすことができます。
令和3年度の事業活動収入は1,071,727,181円となり、前年度比120,335,693円の増加となりました。
一方、事業活動支出は987,486,005円となり、前年度比82,116,345円の増加となりました。
主な要因として、令和2年度は半期分であった附属桃陵クリニックが通期で稼働したことによる収入増と人件費等の支出増、また高等教育負担軽減新制度に関する香川県からの補助金を収入として計上する一方、同額を奨学費支出としても計上する会計処理となっていることが挙げられます。支出のうち、教職員や講師の人件費については、前年度比32,181,107円の増加となりました。人件費については高くなると収支のバランスを崩す恐れがある反面、抑制しすぎると経験豊富な人材が不足し、教育の質の低下を招く恐れがあります。収入に対する人件費の割合で、適正水準を維持することが肝要です[資料⑥参照]。
なお、事業活動収支差額比率は7.9%となり、前年度比3.1%の増加となりました（令和元年度の専修学校法人全国平均値は10.7%）[資料⑦参照]。
今後、これまで以上に教育研究活動の充実に注力しつつ、一層の収入増・経費節減に取り組んでまいります。

(2) 貸借対照表 (令和4年3月31日現在)

(単位:円)

資産の部	
科目	金額
固定資産	6,897,580,264
有形固定資産	2,959,911,959
特定資産	2,629,854,213
その他の固定資産	1,307,814,092
流動資産	1,604,818,639
資産の部合計	8,502,398,903
負債の部	
科目	金額
固定負債	617,250,000
流動負債	232,793,805
負債の部合計	850,043,805
純資産の部	
科目	金額
基本金	6,071,885,797
繰越収支差額	1,580,469,301
純資産の部合計	7,652,355,098
負債及び純資産の部合計	8,502,398,903

(3) 資金収支計算書 (令和3年4月1日～令和4年3月31日現在)

(単位:円)

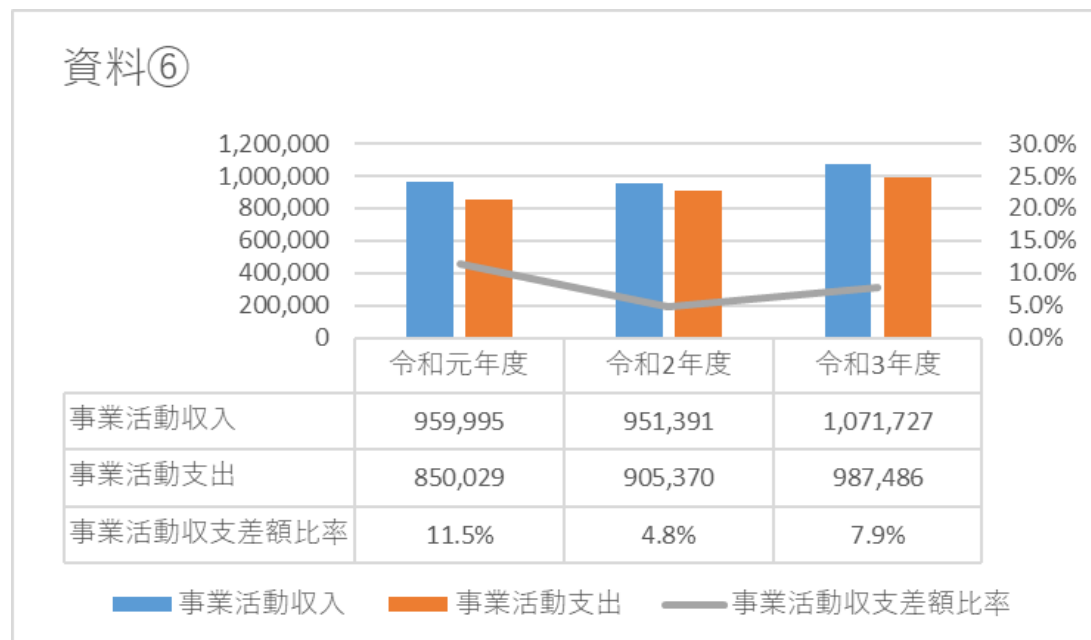
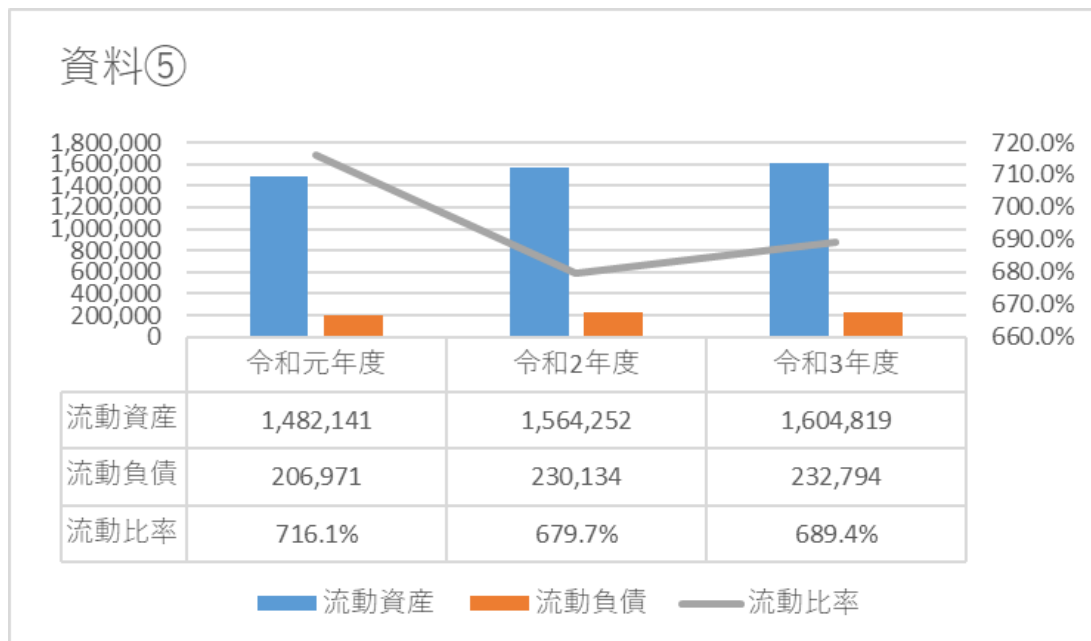
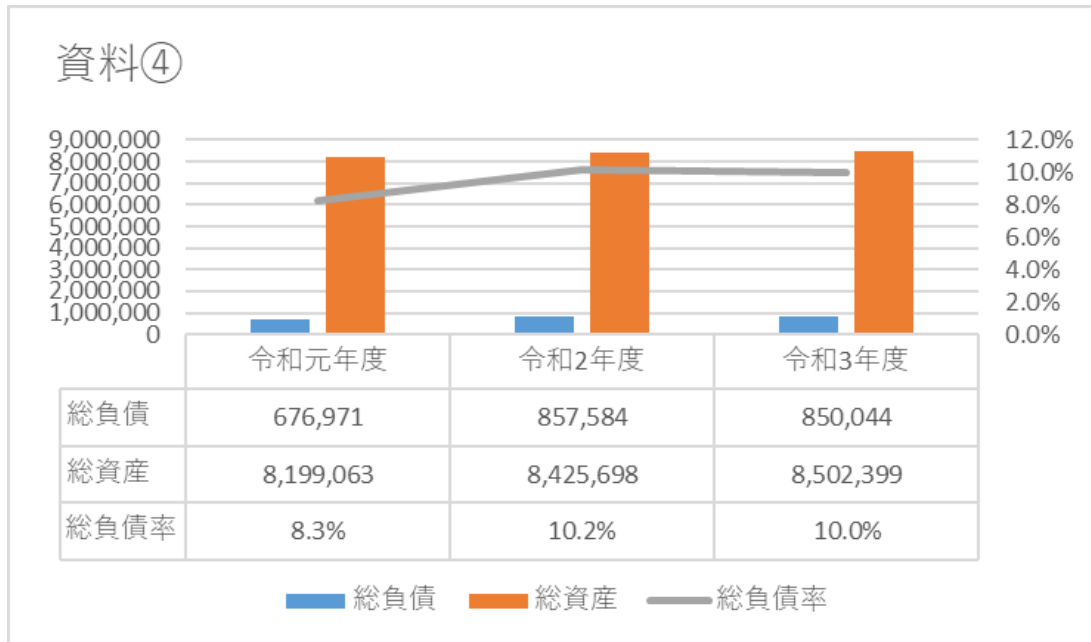
収入の部	
科目	金額
学生生徒納付金収入	805,727,052
手数料収入	8,304,500
寄付金収入	500,000
補助金収入	54,978,100
資産売却収入	10,780,095
付随事業・収益事業収入	112,171,245
受取利息・配当金収入	35,592,787
雑収入	49,278,511
借入金等収入	0
前受金収入	62,100,000
その他の収入	408,208,965
資金収入調整勘定	△215,106,010
前年度繰越支払資金	1,411,977,757
収入の部合計	2,744,513,002
支出の部	
科目	金額
人件費支出	595,123,931
教育研究費支出	238,963,605
(うち、奨学費支出)	(49,418,200)
(うち、医療経費支出)	(23,887,443)
管理経費支出	60,801,753
借入金等利息支出	729,296
借入金等返済支出	10,200,000
施設関係支出	154,217,450
設備関係支出	32,035,600

資産運用支出	33,258,680
その他の支出	336,951,560
資金支出調整勘定	△91,251,533
翌年度繰越支払資金	1,373,482,660
支出の部合計	2,744,513,002

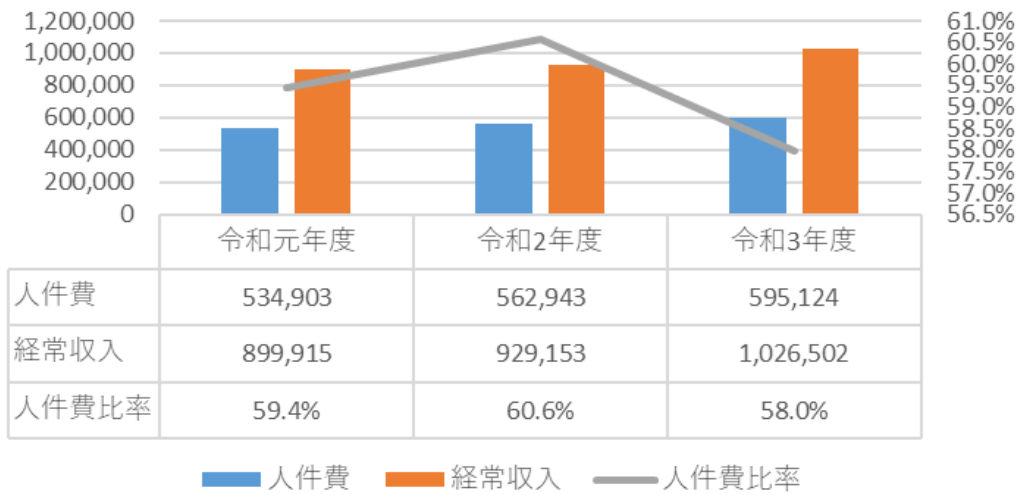
(4) 事業活動収支計算書 (令和3年4月1日～令和4年3月31日現在) (単位:円)

教育活動収支	収入の部 事業活動	科目	金額
		学生生徒納付金	805,727,052
		手数料	8,304,500
		寄付金	500,000
		経常費等補助金	46,722,100
		付随事業収入	112,171,245
		雑収入	17,389,172
	教育活動収入計		990,814,069
	支出の部 事業活動	人件費	595,123,931
		教育研究費	308,300,307
		(うち、奨学費)	(49,418,200)
(うち、医療経費)		(24,467,707)	
管理経費		80,555,087	
教育活動支出計		983,979,325	
教育活動収支差額		6,834,744	
教育活動外収支	収入の部 事業活動	科目	金額
		受取利息・配当金	35,687,678
	教育活動外収入計		35,687,678
	支出の部 事業活動	科目	金額
		借入金等利息	729,296
教育活動外支出計		729,296	
教育活動外収支差額		34,958,382	
経常収支差額		41,793,126	
特別収支	収入の部 事業活動	科目	金額
		資産売却差額	5,080,095
		その他の特別収入	40,145,339
	特別収入計		45,225,434
	支出の部 事業活動	資産処分差額	1,829,020
		その他の特別支出	948,364
特別支出計		2,777,384	
特別収支差額		42,448,050	
基本金組入前当年度収支差額		84,241,176	
基本金組入額合計		0	
当年度収支差額		84,241,176	
前年度繰越収支差額		1,496,228,125	
翌年度繰越収支差額		1,580,469,301	

(5) 資料



資料⑦




監 査 報 告 書

令和 4 年 5 月 19 日

学校法人大麻学園
理事会 御中

学校法人大麻学園

監 事 平田 道一 

監 事 高嶋 博 

私たちは、学校法人大麻学園（以下「学園」という。）の監事として、私立学校法第37条第3項及び学園寄附行為第20条に基づいて学園の令和3年度（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）における財産目録及び計算書類（貸借対照表、資金収支計算書及び事業活動収支計算書）を含め、学園の業務及び財産の状況に関し監査を行いました。

私たちは監査にあたり、理事会及び評議員会に出席するほか、理事からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。

監査の結果、私たちは、学園の業務及び財産に関する不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実のないこと及び学園の業務に関する執行は適切であることを認めました。

以上